

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人 別福会	代表者	北地 輝昭	法人・事業所の特徴	「わたくしたちは、地域とともに歩み、地域から愛され信頼され希望ある施設づくりをめざします。」という理念のもとに、ご利用者様を主体とし、地域連携を基礎に寄り添ったケアを実践している家庭的であったかみのある事業所です。				
事業所名	福祉の森 光町事業所	管理者	松川五織理						

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人		7人			1人		4人		13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・利用者様、家族に対してアンケートの実施。 ・外部、内部研修を行い積極的に参加する。	・アンケートの実施ができなかった。 ・外部、内部研修に積極的に参加し、自分から学ぼうとすることが増えた。	・アンケート実施の時期を明確にした方がよい。 ・スキルアップの為に継続。 ・今後、webでの研修への参加も検討した方がよい。	・利用者様、家族に対しアンケートの実施。 ・外部、内部研修の継続の参加。
B. 事業所のしつらえ・環境	・利用者様参加の壁画作りの継続。 ・事業所内でも季節感を感じれるように環境整備に努める。	・壁画作りに積極的に参加されるようになった。 ・作ることによって、季節を感じれるようになった。	・季節を感じる工夫はとても良い。 ・ゲーム性のある物や、見るだけではなく触って感じられるものがあるといい。 ・新聞に載せると様子がわかる。	・壁画づくり等、新聞に掲載。 ・事業者内外の整備の継続。・
C. 事業所と地域のかかわり	・地域行事参加の継続。 ・接遇マナーについての研修を行う(半年1回)	・コロナウイルス感染の影響で地域行事等が中止の為、参加できていない。 ・まだ言葉使いが出来てないことがある。	・交通安全、月1回への参加の継続。 ・接遇マナーは重要なことなので継続して研修をした方がよい。 ・光町事業所のQ&Aを他の地域の人にも配ると良いと思う。	・コロナ感染予防をしたうえで地域の行事への参加の継続。 ・接遇マナーの研修(月1回)
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・地域包括支援センター・民生委員との連携を継続。 ・県外研修にも積極的に参加し良いところを取り入れるように努める。	・県外研修に関しては、コロナウイルス感染の影響で出来ていない。 ・地域包括支援センターから新規の利用者様の紹介をいただいた。	・地域包括支援センター・民生委員との連携の継続ができる。 ・利用者様の地域の民生委員の把握をした方がよい。	・地域包括支援センター・民生委員との連携の継続。 ・利用者様の地域の民生委員の把握に努め連携して支援する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・新聞作りを継続し回覧に入れていただく。 ・運営推進会議に職員が交替で参加する。	・運営委員会議に交替で参加することで、研修への参加の意欲がみられるようになった。	・新聞をもう少し活用したらどうか。 ・光町事業所Q&Aを新聞の載せたらどうか。 ・光町全体に新聞を入れてもらうようにしたらどうか。	・光町全体に新聞を入れていただけるようになる。 ・新聞の内容を変えQ&Aや壁画づくり等の様子を掲載するようになる。
F. 事業所の防災・災害対策	・地区の防災訓練にも継続して参加する。 ・防災計画の見直しをし、備蓄の確認を行う。 ・地区の方にも参加していただけるように、訓練のお知らせを作り回覧に入れていただく。	・コロナウイルス感染の影響で地区の防災訓練には参加できないが、年2回施設内で防災訓練を実施しました。(コロナウイルス感染の影響で地区の方の参加はありませんでした。)	・防災訓練をしてるからと言って慣れないでいつが起きたても大丈夫なように備えた方がよい。 ・利用者様ごとの避難方法を定期的に見直し役割分担などマニュアルの整備をすると慌てずにすむ。	・防災訓練の実施(年2回) ・マニュアルの再確認し見える所に貼る。